

事 務 連 絡

平成 29 年 11 月 13 日

各 位

厚生労働省基調講演実行委員会

これからの宮古島市
～介護を取り巻く環境を考える～
(案内)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

早速ですが、2025 年問題をご存知でしょうか？

「これから 10 年で、日本の人口は減少し、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口が落ち込む一方で、65 歳以上の人口は増加します。2025 年には、団塊の世代が 75 歳を迎えて後期高齢者となり、国民の 3 人に 1 人が 65 歳以上、5 人に 1 人が 75 歳以上と言う人類が経験したことが無い『超・高齢化社会』を迎える。」とされています。

国は対策として「地域包括ケアシステム」と言う施策を打ち出していますが、この内容の大事な点は、「地域」です。

そして、この施策を進めることはこれから来る社会を「誰もが安心して暮らせる地域社会」を目標にしていますが、その為には地域住民の理解と協力が大きく左右します。

進められない場合、制度自体も継続が難しくなり、自己負担割合も 2 割、3 割を超えていく事も考えられますし、無くなれば全額（10 割）自己負担と言う状態になります。

介護保険事業所も事業継続が不可能であれば地域から「介護事業所」は無くなっていき、介護の受けられない地域になってしまう可能性もある、とても大事な課題です。

その課題を知り、地域性を活かした地域作りを進めるに当たり、厚生労働省の方を招き講演をして頂きます。宮古島市の多くの方に聞いていただき、これからの宮古島市での生活が、一人ひとり納得できた生活と思える地域作りを一步前に進めてみませんか？

住民の皆様の多くの参加をお待ちしております。

つきましては、ご多忙の折大変恐縮ですが、内容をご確認いただきご参加頂きますようご案内申し上げます。

厚生労働省基調講演会実行委員（宮古介護福祉士の会）

電 話：090-3190-6684 F A X：0980-79-0148

宮古島市 厚労省基調講演会 開催要項

1. 目的

2025年問題、介護職員の不足など、これからの介護を取り巻く環境については多くの課題が予測される中、地域包括ケアシステム・介護保険制度の改正に対して、地域住民の理解と協力が大きく左右する。

この事について、専門職以外の地域住民への理解を促し、平成30年以降の制度改正や宮古島市における介護を取り巻く環境について考える事を目的とする。

2. 講師

- ・厚生労働省老健局総務課
課長補佐 石井義恭

3. 実施主体

主催：宮古介護福祉士の会

後援：宮古島市

協賛：沖縄県介護支援専門員協会宮古支部
地域包括支援センターみやこ

4. 対象者

- ・宮古島市に住む住民

5. 日時

- ・平成29年12月1日（金） ※18時会場
- ・18時半から20時半

6. 場所

- ・宮古島市合同庁舎 2階講堂

7. 料金

- ・無料